

令和3年12月15日

学校法人 産業教育事業団  
マロニエ医療福祉専門学校  
小山歯科衛生士専門学校  
学校長 伏木 克行 殿

学校関係者評価委員会

## 令和3年度 第2回学校関係者評価委員会報告書

令和3年度第2回学校関係者評価委員会（令和2年度学校評価 改善・現状報告）について、下記の通り報告いたします。

### 記

#### 1. 学校関係者評価委員（外部関係者）

北條 豊（合同会社あゆみの森 代表社員）  
川村 祐也（医療法人常盤会 緑の屋根診療所）  
須藤 智宏（医療法人心救会 小山富士見台病院）  
渡邊 芳江（公益社団法人 栃木県看護協会 常任理事）  
中里 佳純（大澤歯科医院）  
茂木 明男（MO 後援会 会長）  
日原 芳行（マロニエ同窓会 副会長）

#### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

日程：令和3年12月14日 火曜日 18：30～20：00  
会場：マロニエ医療福祉専門学校 3号館 視聴覚室

#### 3. 学校関係者評価委員会結果報告

別紙1の通り  
質疑応答の内容については議事録に記載

以上

## 第 2 回学校関係者評価委員会結果報告

評価ポイント：適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

### (1) 教育理念・目標

#### 【改善を要する (4 未満) 評価項目】

なし

#### 【委員からの意見】

- ・多職種連携教育が継続的に取り組まれていることはたいへん評価できます。今後は国家試験対策委員会活動が合格率アップにつながっていくことを期待します。
- ・入学を決める条件として国家試験の合格率は影響すると思います。母校だからこそ合格率を高い所で維持してもらいたい気持ちもあります。
- ・新型コロナの感染者数が減少してはいるものの、施設や病院はまだ慎重な姿勢であり、実習機会確保は課題であると感じました。
- ・教育の質の向上を目指し、「授業見学会」や「国家試験対策委員会」など教職員の連携はとてもいい取り組みかと思います。特に国家試験はテクニカルな要素も多いので、各科のノウハウを共有することは学生にとって有益だと思います。
- ・適切であると思います。
- ・MO後援会の要望に応じていただいた懇談会や、個別相談会に関し、開催した学科と開催できなかった学科があった。  
非開催の学科は、なぜ開催できなかったのか、またどうしたら開催できたのかの説明がほしい。

### (2) 学校運営

#### 【改善を要する (4 未満) 評価項目】

なし

#### 【委員からの意見】

- ・学科ごとの縦割りではなく横のつながりは大切だと思います。いろいろな視点が必要になると思います。
- ・国家試験の日程は変わらないものの、必要な単位はとらなくてはならない。コロナ禍で今まで以上に制限がある中で、学生の学習面だけでなく、精神的な部分、全体のフォロー等、気配りしなくてはならない部分が多いと感じます。
- ・報告内容からして、コロナ禍における学校運営としては多くの工夫がうかがえます。保護者、学生、実習地としても様々な媒体にて学校の状況が見えることは信頼や安心に

つながり、良い学校運営となると感じました。

- ・MO後援会の位置付けについて説明を。

### (3) 教育活動

#### 【改善を要する(4未満)評価項目】

「令和2年度 自己点検・自己評価結果 改善現状報告」P.3～14を参照

#### 【委員からの意見】

- ・実習が難しい時世であるが、感染状況が落ち着いている時期に学習の遅れが取り戻せることを期待します。
- ・学生のために試行錯誤されていると思います。
- ・コロナ禍の中様々な工夫がなされ、適切かつ積極的な活動がなされていると感じます。
- ・外部研修やリモート授業の整備がされているようですが、実際に自分自身もウェブ会議を行う際に、出席者が多すぎると全体の把握、一人ひとりへのフォローが格段と難しいと感じました。学校としてその部分で配慮されていることはありますか。
- ・多くの学科で教員のスキルアップを課題としていますが、具体的な到達目標などがあれば教えてください。認定〇〇や〇〇理論を学ぶ等、具体的目標設定があると良いのではないのでしょうか。

### (4) 学修成果

#### 【改善を要する(4未満)評価項目】

「令和2年度 自己点検・自己評価結果 改善現状報告」P.15～23を参照

#### 【委員からの意見】

- ・通信課程の看護学科は県内に少ないためこれからも学生獲得や学修成果にご尽力いただきたい。
- ・資格取得率の向上に関して、ほとんどの学科で課題に挙げられていると思います。学校全体での取組が必要になっていると思います。国家試験対策委員会以外にも。
- ・各学科評価4は難しいと思いますが、学生1人1人のモチベーションを維持しグループワークの機会を増やしささえ合いながら学習をすることで合格率向上へつながると思う。
- ・【介護】LINEの活用により幅が広がったと実感できる。
- ・【看護】改善方策③について、卒業後の就職先からの情報収集は、卒業した学生から得るものではなく、担当者が自ら足を運んで得るものである。
- ・資格取得率の向上が専門学校としての大きな役割の一つかと思います。改善に向け工夫していただきたいです。
- ・資格取得率の向上に努力されている点は評価できますが、数値がどのくらいアップして

いるのか、成果の可視化をお願いしたい。

- ・それぞれが課題について一定以上の成果をあげていますが、例年に比べ資格取得率の評価が低くなっている科が多い理由は何でしょうか。
- ・改善策、取組みは進んでいると思うが、もう少し詳しく説明を。

## (5) 学生支援

### 【改善を要する(4未満)評価項目】

Q5 課外活動に対する支援体制は整備されているか(評価3)

Q10 高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか(評価3)

### 【委員からの意見】

- ・相談する心理的ハードルが少なからずあるように感じます。チェックリスト等で相談が必要だろうと探すことも必要かと。自ら「必要だと判断する」よりも、チェックリスト等で「必要と判断された」となれば行き易い可能性もあると考えました。
- ・コロナ禍においてますます大変だと感じます。
- ・当院に来られた実習生は学生サポートセンターを利用されている学生でしたが、サポートセンターでは、基礎学習(漢字、計算)なども取り組んでいたとうかがいました。カウンセリングと合わせて、とても大切な取り組みだと思えます。

## (6) 教育環境

### 【改善を要する(4未満)評価項目】

なし

### 【委員からの意見】

- ・学生が事故に巻き込まれないように災害時や不審者に対する訓練など、今後も危機管理に努めていただきたい。
- ・防災に関し、(介護事業所において)BCP<sup>※</sup>が義務化され、社会的にも意識が高くなっていると感じます。どのように維持継続していくか、常に情報を取り入れることが重要と考えます。 ※BCP…事業継続計画

## (7) 学生の受入れ募集

### 【改善を要する(4未満)評価項目】

Q2 学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか(評価3)

### 【委員からの意見】

- ・ SNS 活用、web によるオープンキャンパス、動画作成など募集強化が図られています。
- ・ 最近マロニエの情報を SNS でよく見かけるようになりました。インスタグラム・YouTube は今の高校生が主に見ている SNS だと思うのでインスタグラム・YouTube に力を入れ情報発信したらどうでしょうか。
- ・ HP は見やすく良いと感じました。
- ・ 入学を検討する段階で SNS を通して学校の雰囲気を知ることができることはとても良いことと思います。また、保護者はフェイスブックを利用している世代になっていくかと思うので、様々な SNS の強化が必要かと思います。私も SNS を通して学校の様子を多く見る事が出来ています。
- ・ SNS 等で広報活動をしており積極的な州都ができていていると感じる。

## (8) 財務

### 【改善を要する(4未満)評価項目】

なし

### 【委員からの意見】

- ・ コロナ禍で困窮する学生が出た場合の対応は。
- ・ 学費納入が遅れる学生が出た場合の対応は。

## (9) 法令等の遵守

### 【改善を要する(4未満)評価項目】

3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか(評価3)

### 【委員からの意見】

特になし

## (10) 社会貢献・地域貢献

### 【改善を要する(4未満)評価項目】

なし

### 【委員からの意見】

- ・ コロナワクチンの職域接種実施で地域に貢献されていることはたいへん評価できると思います。
- ・ コロナ禍でむずかしいと思いますが、ボランティアの内容について、コロナ前とどんな変化がありましたか。